

LPL 活性・HTGL 活性—自動分析（酵素法）

ヘパリン投与後血漿中リポ蛋白リパーゼ(LPL)活性値、及び肝性トリグルセリドリパーゼ (HTGL) 活性値の測定が新たな酵素法試薬を用いた自動分析で可能となりました。

LPL は カイロミクロン(CM)や超低比重リポ蛋白(VLDL)トリグリセリド (TG) を加水分解する酵素です。この LPL の欠損や機能異常は、それぞれ I 型高脂血症や IV 型、V 型高脂血症で認められており、本酵素低下は高 TG 血症原因 一つと考えられています。HTGL は TG や CM レムナント、中間比重リポ蛋白(IDL)、高比重リポ蛋白(HDL)中リン脂質を加水分解する酵素であることから、リポ蛋白代謝において重要な役割を果たしていると考えられています。



項目	動物種	メーカー名	測定法	必要検体量	保存条件	単価（税別）
LPL 及び HTGL 活性値	ヒト	IBL(免疫生物研究所)	酵素法	200 μ L	凍結	¥18,000

※ 測定対象 ヘパリン投与後の EDTA 血漿

※ 1 検体～ 引き受け可能です。納期はお気軽にお問い合わせ下さい。

【お問い合わせ】

(株) スカイライト・バイオテック 東京サービスセンター



TEL : 03-3525-8077 FAX : 03-3525-8078

URL : <http://www.skylight-biotech.com>

E-mail : info@skylight-biotech.com

■ 測定原理

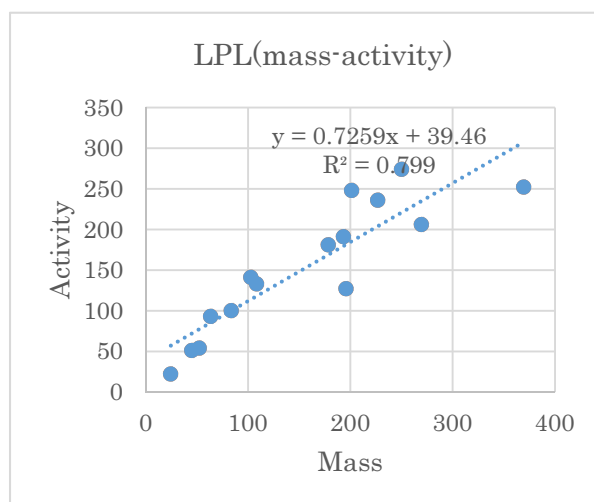
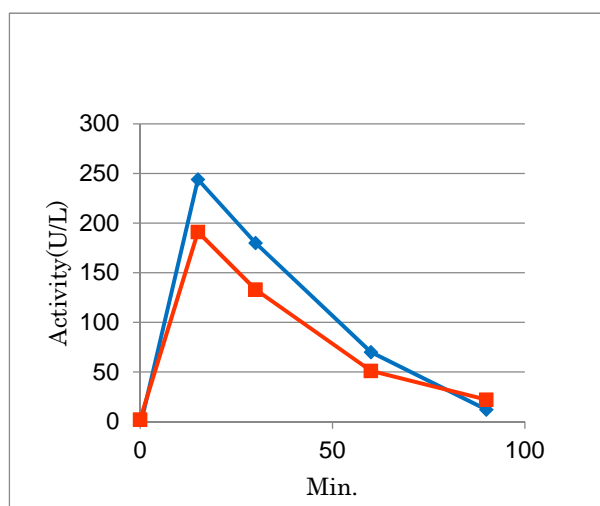
1. HTGL 活性測定

ジグリセリドを基質に用いて、リパーゼ反応により生成されるモノグリセリドを酵素的に測定します。

2. LPL 活性測定

ジグリセリドを基質に用いて、LPL 特異的活性化剤であるアポ蛋白 CII 共存下でリパーゼ反応により生成されるモノグリセリドを酵素的に測定し、得られた酵素活性値 (HTGL+LPL) からアポ蛋白 CII 無添加における HTGL 活性値を差し引くことによって LPL 活性値を算出します。

■ 測定例、関連データ



健康人のヘパリン静注 (30 units/kg) 後の継時的採血 LPL/HTGL 活性値 ヘパリン静注後血漿の LPL 活性-蛋白量相関

LPL : —■— HTGL : —▲—

■ 参考文献

A novel method for measuring human lipoprotein lipase and hepatic lipase activities in postheparin plasma. Imamura S, Kobayashi J, Nakajima K, Sakasegawa S, Nohara A, Noguchi T, Kawashiri MA, Inazu A, Deeb SS, Mabuchi H, Brunzell JD. *J Lipid Res.* 2008 Jul;49(7):1431-7.

ご注意：本項目は保険対象外です。本分析結果を診断に用いることはできません。サービス内容・価格は 2017 年 12 月末時点のもので、予告なく変更する場合があります。測定検査は (株) スカイライト・バイオテック秋田解析センターで実施致します。